

シンクスインターナショナル

福利厚生で働く女性を応援

職・食・色の
3つの「しよく」を軸に

厚生労働省が推進する「働き方改革」は、「同一労働同一賃金の実現」とともに「女性活躍」や「均等処遇」も大きな柱だ。シンクスインターナショナル（大阪市中央区）は、個性的な福利厚生制度で女性労働力の生産性を飛躍的に向上させている。

「女性には働く現場でどうしても避けられないハンディキャップがある。その点をうまく支援できれば、女性がもっと活躍し、評価される職場になる」と年見哲良社長は強調する。

同社は職・食・色の3つの「しよく」を軸にユニークな福利厚生制度「じょしよく」を策定し、働く女性の応援プロ

ジェクトを推進している。

例えば、正装や身なりを整えるのに、女性は男性に比べてかかる時間とコストが大きい。そこで、美容に掛かる費用を会社が「おしゃれ手当」として負担する。また、管理職が女性のため生理休暇の申告がしやすく、月1回の生理休暇の完全取得も実現。社内外のセミナー受講やチームワーク向上のための女子会の開催にも会社から援助が出る、といった仕組みだ。

このような支援を通じて女性の能力アップを図り、それら人材を「フロア長」「スーパーバイザー」「リーダー」「オペレーター」で構成する1つのチームに

編成。優秀な人材をチーム単位で、通信機器などのコールセンター事業やイベント事業などに送り込み取引先から高い評価を得ている。

これらの実績を踏まえ、働く女性のハンディを補い、より活躍できるための労働環境支援をビジネス化しようともくろんでいる。「職場近くに朝食をとりながらヘアセットなど身なりを整えることができるスポットが作れないか」と思案中の年見社長。成長戦略に不可欠である潜在的な女性労働力に磨きをかけ、「輝く女性」を育成し続ける。



年見 哲良社長

■会社概要

▷所在地 大阪市中央区日本橋2-7-10 日本橋エクシーリスビル6F

☎06・7878・6235

▷事業内容 コールセンター事業、イベントプロモーション事業

▷ホームページ <http://www.thinks-i.co.jp>